

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)  
【**単独**・連携事業】

市町名	高根沢町
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	高根沢町元気あっぷ ハーフマラソン大会兼 長距離走大会	総事業費	12,498,236					12,498,236
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
2	たんたん祭り	総事業費	4,964,854					4,964,854
		うち市町支出額	1,300,000					1,300,000
		うち県交付金	650,000					650,000
3	高根沢町文化祭開催事業	総事業費	1,000,000					1,000,000
		うち市町支出額	1,000,000					1,000,000
		うち県交付金	500,000					500,000
4	たかねざわ魅力発信事業	総事業費	6,000,014					6,000,014
		うち市町支出額	6,000,000					6,000,000
		うち県交付金	3,000,000					3,000,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	24,463,104	0	0	0	0	24,463,104
		うち市町支出額	10,300,000	0	0	0	0	10,300,000
		うち県交付金	5,150,000	0	0	0	0	5,150,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会
事業主体の名称	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会組織委員会
代表者の名称	会長 加藤公博
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的 元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会の開催</li> <li>・団体設立時期 平成 7年9月29日</li> <li>・構成員等 町議会、町教育委員会、町体育協会、栃木陸上競技協会、商工会等の関係団体で組織</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】 本町の平坦な地の利を生かして、町を代表するイベントとしてハーフマラソン大会を開催し、スポーツを通じた健康に対する意識醸成や参加者と地域との交流を図るとともに、元気あつぷむらをはじめとした町の魅力をPRするために取り組んでいる。</p> <p>【課題】 大会参加者は年々増加しており、特に県外からの参加者多く、地域との交流の機会や町の魅力をPRする機会は増えているが、これをきっかけとした地域活性化の効果を、大会開催時のみならず他の時期においても継続するためには、これまで以上に参加者と地域との交流を活発にすることが求められている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン等への参加や参観を通して、スポーツに対する興味関心を高めて、健康や体力の保持・増進を促す。</li> <li>・地域の関係団体が連携して大会を開催することによって、地域の一体感を醸成する。</li> <li>・県内外からの参加者との交流を深め、「元気あつぷむら」への回遊などを含めて、地域活性化を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】 ①大会の開催(以下の内容で平成29年1月8日に大会を開催した。) 競技種目は、ハーフマラソン、10km、5km、2km 参加対象者：一般成人(大学生含む)、高校生、中学生、小学生(1~3年生は親子マラソン) 運営面において、大会開催に向けて準備段階から地域の関係団体等が連携を深めたり、大会当日には中学生・高校生・民間企業等がボランティアとして多数参加したり、町の一大スポーツイベントに多くの人が関わる機会をつくることで、地域の一体感を醸成や町への愛着度の向上した。 専用ホームページを開設して県外からの参加者を募集し、大会当日には、「高根沢町に来てよかった」「来年も高根沢町に来よう」「他の時期にも来てみたい」と思う参加者を増やして、地域活性化の効果を広げていくために、以下の取組みをした。</p> <p>②町の魅力のPR 地域の方を中心とした飲食ブース(例えば「高根沢焼きちゃんぽん」など)・物産ブース(「イチゴ」など)の開設 高根沢町観光協会の観光写真コンテスト入賞作品のパネル展示 大会プログラム等を活用した「元気あつぷむら」などの情報発信</p> <p>③参加者と地域との交流促進(平成28年度新規) 地域の方を中心とした飲食ブースや物産ブースでの参加者への声かけ運動 ボランティアスタッフによる参加者への積極的な声かけ運動</p> <p>【平成29年度】 他の地域活性化事業等とも連携しながら継続して大会を開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基本目標：地域コミュニティの再編・再構築、数値目標：本町に対する愛着度 平成31年度までに82%</li> <li>◆基本目標：就労機会の拡大、施策名：地域経済の活性化、KPI：「元気あつぷむら」の観光客入込数(H26実績)352,084人→(H31)400,000人</li> <li>◆基本目標：定住人口増加に向けた施策の展開、施策名：高まる連携の充実、KPI：連携して取り組んだ事業数 5事業/年</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催				
事業費	12,498,236			12,498,236	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,498,236	0	0	10,498,236	0

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	斎藤 哲也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単事業調書)  
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	たんたん祭り
事業主体の名称	たんたん祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 佐藤 靖輔
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立年月日 平成21年9月24日</li> <li>・団体の目的 地域住民有志が主体となってイベントを開催することで、地域コミュニティの活性化及び地域産業の振興を図る。</li> <li>・構成員等 観光協会、町経済懇話会、町農業会議、農協青年部等の地域住民の有志</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】</p> <p>従来、高根沢町の夏の風物詩・イベントとして「たかねビア夏祭り」が行政主導で開催されていたが、「行政が主導で開催することが真のまちづくりにつながっていくのか」といった意見等を踏まえて休止となり、代わって、従来のあて職からなる実行委員会ではなく、「人と人のネットワークによってできる祭りをしよう」と若い人たちが中心となって実行委員会を立ち上げ、平成22年に「たんたん祭り」が開催されるに至った。平成26年・平成27年には約10,000人が来場するなど、今や町を代表する祭りとなっている。また、準備から片付けはもちろん、ステージ演出やモニュメントへの火入れや記念花火の打ち上げなど、全体を通して住民主体で実施されており、地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成、さらには地域活性化に寄与している。</p> <p>【課題】</p> <p>地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成の一層の深化に加えて、来場者の増加による地域活性化の効果を高めるためには、祭りへの来場者をさらに増やすなどして、より一層の賑わいを創出する必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りを通して、地域内及び地域間の一体感を醸成し、自治会をはじめとした地域コミュニティの活性化、担い手育成、ひいては町への愛着度を高める。</li> <li>・町内のみならず町外に対しても祭りをPRし、より多くの人に「高根沢町の良いところ」を知ってもらうきっかけを創出することで、町の知名度の向上、地域活性化を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成、さらには地域の活性化のため、祭りへの来場者を増やすための以下の取り組みをした。また、交流人口の増を図るため、町外からの来場者に対して町の名所(元気あつむら等)をPRした。</p> <p>①住民・自治会・企業等の緊密な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1～2回開催した実行委員会の会議は、異業種交流の場にもなった。</li> <li>・模擬店の出店者等にとっては、今後の活動資金の確保や、団体・企業のPRにつながった。</li> <li>・出演者にとっては、練習の成果を発表する機会となり、活動のモチベーション向上や新たなメンバー加入につながった。</li> </ul> <p>②祭りの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 10月29日(土)</li> <li>・内容: 地域住民等や町内企業による模擬店 自治会による餅つき、町湧泉太鼓等の演奏等のイベント 伝統行事「ほうじほ」体験や、「どんと焼き」をモチーフとしたモニュメントへの火入れ儀式 お祝いなどの記念花火打ち上げ</li> </ul> <p>③開催PRの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebookを立ち上げ運用した。(平成28年度新規)</li> <li>・チラシやポスターを作成し、実行委員のコンタクト等も活用しながら、宇都宮市・那須烏山市・さくら市等の企業や店舗等に配布した。</li> <li>・新聞などに記事として取り上げてもらおう働きかけた。</li> </ul> <p>【平成29年度】</p> <p>さらに来場者を増やす工夫をしながら、継続して祭りを開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基本目標: 地域コミュニティの再編・再構築、数値目標: 本町に対する愛着度 平成31年度までに82%</li> <li>◆基本目標: 地域コミュニティの再編・再構築、施策: 地域コミュニティの拠点づくり、KPI: 自治会加入率 53%以上</li> <li>◆基本目標: 就業機会の拡大、施策名: 地域経済の活性化、KPI: 元気あつむらの観光客入込数 400,000人(平成31年度)</li> <li>◆基本目標: 定住人口増加に向けた施策の展開、施策: プロモーション活動の推進、KPI: 各種メディアに掲載された件数 5件以上/年</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度		支援期間の事業費計	
	事業費			
事業内容	①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催			
事業費	4,964,854		4,964,854	
市町支出金(ソフト事業分)	1,300,000		1,300,000	
うち県交付金	650,000		650,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	3,664,854	0	3,664,854	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	齋藤 哲也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiji@town.takanezawa.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	高根沢町
事 業 名	高根沢町文化祭開催事業
事業主体の名称	高根沢町文化祭開催委員会
代表者の名称	委員長 鶴見 登代
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825
事業主体の概要	・設立年月日 昭和53年度から年度毎に設置(単年度清算) ・団体の目的 文化祭の開催により、高根沢町における文化の発展と協働のまちづくりに寄与する。 ・構成員等 文化協会、自主活動文化グループ、小学校等の関連団体
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】 当町では、町や各種団体による講座や体験学習などで文化活動や地域芸能に親しむことを通して、生きがいづくりや郷土愛の醸成に取り組む中で、参加者の文化活動等への意欲の高揚や、普段文化活動等をしていない人にとっては文化活動等をはじめめるきっかけとなるよう、多くの人が集い交流を深められる場として文化祭を開催している。 【課題】 文化祭に参加・来場する人だけでなく、普段から各種団体等で文化活動をしている人の年齢層は比較的高めであり、文化活動等を通じた郷土愛の醸成をさらに推進するためには、より多くの人(特に若い世代)の文化活動等への興味関心を高める必要があることから、若い世代をはじめ、誰もが文化祭に参加・来場しやすい環境をつくることが求められている。
事業目的	・文化活動を通じて他者の多様性を理解し合い、町で暮らす人の心を豊かにするとともに、郷土愛を醸成する。 ・郷土愛の醸成をはじめ、自治会等での地域コミュニティ活動や地域の居場所づくりのツールとなる文化活動を振興する。 ・町の文化関係団体の活動を知る機会をつくり、団体加入などによる生きがいづくりに寄与する。
事業概要	【平成28年度】 生きがいづくりや文化活動への意欲高揚ひいては郷土愛の醸成を図るため、各文化関係団体が緊密に連携して、以下の内容で作品展示や活動発表の場をつくった。 開催日:平成28年11月5日、6日 開催場所:高根沢町町民ホール、高根沢町農村環境改善センター ・地域住民が交流し、参加するイベントを行った。 ・ステージ発表、作品展示等において、各団体が連携した。 ・(平成28年度新規)比較若い世代の来場が見込まれる町歴史民俗資料館の企画展(ホンダ展)や町民ホール自主事業(子ども向け映画会)に対して、同日開催の働きかけを行い、来場者を文化祭会場へ回遊させる工夫(例えばスタンプラリー等)を取り入れることで、より幅広い年代が文化活動等に興味関心を持つきっかけとなった。 【平成29年度】 さらに来場者を増やす工夫をしながら、継続して祭りを開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	◆基本目標:地域コミュニティの再編・再構築、数値目標:本町に対する愛着度 平成31年度までに82%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①祭りの開催準備 ②祭りの開催				
事業費	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	齋藤 哲也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	たかねざわ魅力発信事業
事業主体の名称	たかねざわ魅力発信協議会
代表者の名称	会長 加藤 公博
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的 高根沢町の定住人口増加に向けたプロモーション活動を推進して、町外からの新たな人の流れを創り、地域活性化・産業振興を図る。</li> <li>団体設立時期 平成28年7月4日</li> <li>構成員等 町、町観光協会、栃木銀行、栃木県立高根沢高等学校等の関係団体で組織</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】 現町長が就任(H25.4)の際、人口減少や少子高齢化等への対応が町の課題であると認識し、人口を現在の約3万人から4万人への増加を目指す構想を掲げた。この構想の実現に向けたまちづくり活動や地域活性化及びプロモーション活動の推進等を目的に、H25.9には栃木銀行と、H28.2には栃木県立高根沢高等学校と包括連携協定を締結し、これに基づいた相互連携の効果を高め、一体的にプロモーション活動を推進するために協議会を設立するに至った。</p> <p>【課題】 県内外からの転入を促進させるためには、まずは「定住する町の選択肢の1つ」として認知される必要があるが、本町には、町情報(観光名所・名物・アクセス等)が一元的にまとめられたパンフレットもなく、県外どころか県内でも知名度が低いことから、まずは「高根沢町」の知名度を向上させる取組みをすることが求められている。</p>
事業目的	交流人口を増やし、地域活性化ひいては転入者増を図る。 町情報誌の作成・配布の過程を通して、町内事業者や高校生等の郷土愛の醸成を図る。
事業概要	<p>【平成28年度】 町の知名度向上・交流人口の増加・地域活性化を図り、町への転入者増加につなげるため、町、町観光協会、栃木銀行、高根沢高等学校が一体となって、それぞれがもつ強み、例えば銀行の地域経済に係るノウハウ、高校生の柔軟なアイデアなどを活かし、以下の取組みを行った。 ①情報誌「るるぶ」の作成・配布 町情報(観光名所・名物・アクセス等)を一元的にまとめた情報誌として、知名度・ブランド力のある「るるぶ特別編集 高根沢」を作成した。作成にあたっては、委託先(JTB/パブリッシング)に丸投げ委託するのではなく、協議会メンバー(栃木銀行の行員・高校生等)が委託先と協議しながら、企画内容及び構成の検討はもちろん、例えば飲食店紹介の際のモデルになったり、町内のイベント・名所・名物のレポートを行った。また、町内回遊のためのコースやツアー内容を検討した。作成部数は3万部。JTBや栃木銀行のネットワークを活用して、県内外ホテルをはじめ大型商業施設・レジャー施設・道の駅・各企業関係の店舗・JR駅・県内外自治体の関係課カウンター等に関係機関と協議・検討を重ねながら設置・配布した。隣接する那須烏山市とはJR烏山線を活用した広域連携事業に取り組みの中で連携を図った。 ②「るるぶ」と連動した名物等のPR・マーケティング 高根沢高校では、毎年、商業課題研究発表会「プロポーザルたかこう」を開催し、生徒たちの問題解決能力や自主的・創造的な学習態度を育んでおり、この取り組みにおけるテーマ選定との整合性を図りながら、高根沢町名物(焼きちゃんぼん等)のPR活動やマーケティング等を行った。</p> <p>【平成29年度】 町外イベント等における「るるぶ」配布や、観光資源の開発及び町特産品の販促・PR活動等の事業を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基本目標:地域コミュニティの再編・再構築、施策名:中心市街地の活性化、KPI:新たなコミュニティ・イベント等による来場者数 1,000人以上/年</li> <li>◆基本目標:就労機会の拡大、施策名:地域経済の活性化、KPI:元気あつむらの観光客入込数 400,000人(平成31年度)</li> <li>◆基本目標:定住人口増加に向けた施策の展開、施策名:定住関連情報の充実、KPI:ホームページアクセス件数 20万件</li> <li>◆基本目標:定住人口増加に向けた施策の展開、施策名:高まる連携の充実 KPI:連携して取り組んだ事業数 5事業/年</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	
事業内容	①情報誌の作成 ②情報誌配布を中心とした町PR事業の展開				
事業費	6,000,014			6,000,014	
市町支出金 (ソフト事業分)	6,000,000			6,000,000	
うち県交付金	3,000,000			3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	14	0	0	14	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	齋藤 哲也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.tochigi.jp